



令和4年1月14日

枚方寝屋川消防組合

令和3年消防統計

本消防組合における、令和3年（1月から12月まで）の消防統計の速報値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

1 119番通報について（※交野市を含む）

枚方寝屋川消防組合・交野市消防指令センター全体の119番通報件数は61,830件で、前年（59,901件）より1,929件増加しました。

2 火災について

火災件数は133件（枚方市81件、寝屋川市52件）で、前年（147件）より14件減少しました。

この件数は、過去10年間で一番多かった平成23年の249件（枚方市144件、寝屋川市105件）と比べると116件減少となります。

火災による死者は1人（枚方市1人、寝屋川市0人）で、前年（6人）より5人減少しています。

出火原因は「放火（疑い含む）」が32件で第1位となり、「電気関係」が18件で第2位でした。

3 救急について

救急出動件数は35,877件で、前年（34,732件）より1,145件増加し、救急搬送人員は31,919人で、前年（30,908人）より1,011人増加しました。

新型コロナウイルス感染症関連の搬送件数は6,641件で、そのうち感染者の搬送は898件でした。

4 救助について

救助出動件数は236件で、前年（254件）より18件減少しています。

※ 詳細については別添のとおりです。



【問い合わせ先】

枚方寝屋川消防組合

情報指令課 TEL 072-852-9806

警防課 TEL 072-852-9917

救急課 TEL 072-852-9918

総務管理課（広報） TEL 072-852-9903

119番通報の主な特徴

1 119番通報は指令センター全体で約1,900件増加

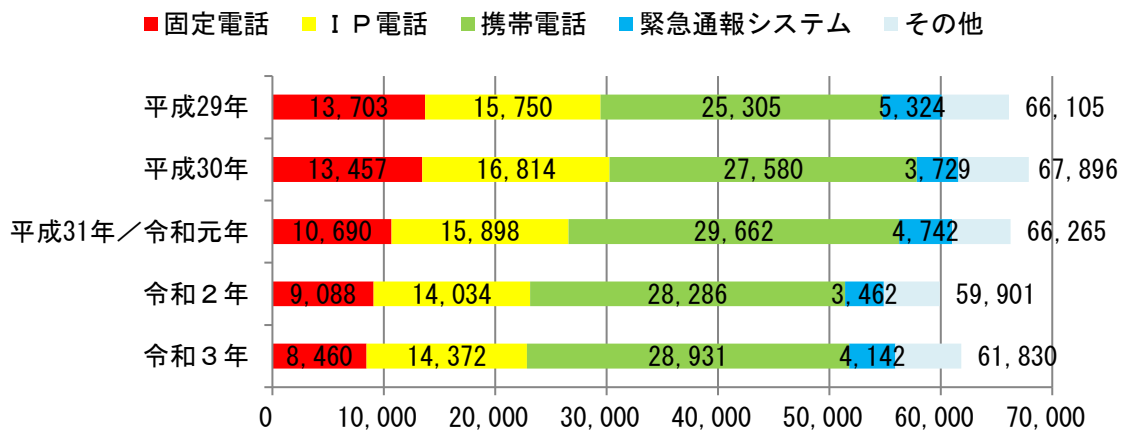
令和3年の枚方市・寝屋川市からの119番通報は問い合わせを含め56,943件で、前年(55,185件)より1,758件増加しました。

これは、枚方市・寝屋川市の市民の約11人に1人が119番通報をしたこととなります。

また、指令業務を共同運用している交野市からの通報は4,887件で、枚方寝屋川消防組合・交野市消防指令センター全体では61,830件(1日平均約169件)となり、前年(59,901件)より1,929件増加しました。

※平成27年7月から、枚方寝屋川消防組合と交野市消防本部において消防指令業務の共同運用を行っています。

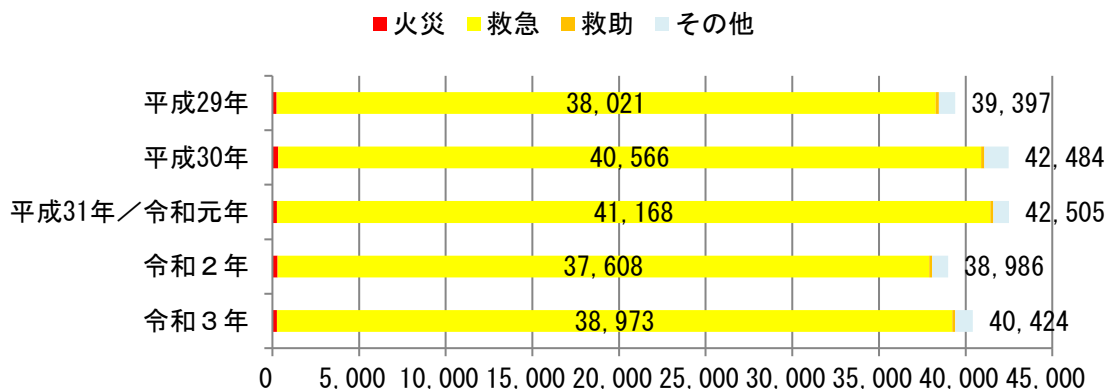
回線別の受信件数の構成比の5年ごとの推移



2 119番通報のうち約6割が救急関係 ※交野市を含む

119番通報のうち、災害事案に関する通報は40,424件で、前年(38,986件)より1,438件増加しています。「救急関係」の通報も増加し、38,973件で通報全体の約63%を占めています。

119番通報(災害事案)の構成比の5年ごとの推移



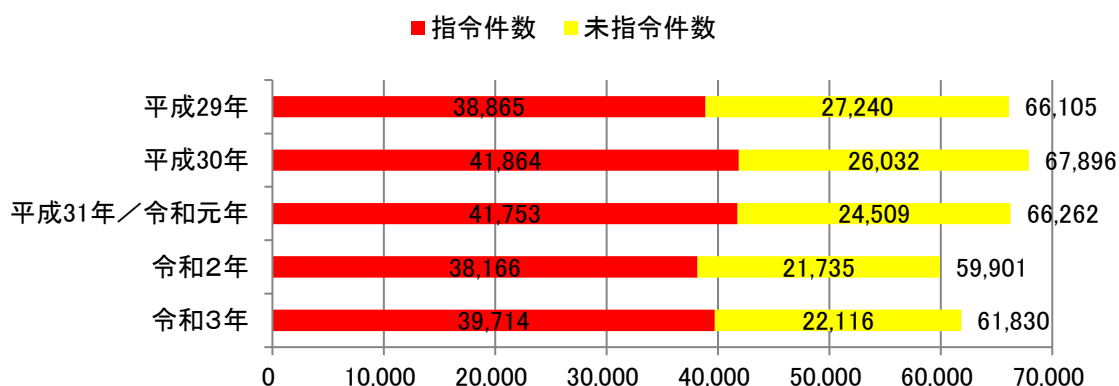
3 出動指令を出した事案は全体の約6割 ※交野市を含む

119番通報に対して実際に出動指令を出した事案は39,714件で、通報件数に対する割合は約64%で、前年(38,166件)より1,548件増加しています。

一方、119番通報に対して出動指令を出さなかった事案は22,116件で前年(21,735件)より381件増加しました。

そのうち、「各種問い合わせ」、「悪戯」、「間違い」などの緊急性のないものは約35%、「試験」、「他への転送等」は約1%でした。

出動指令件数と未指令件数の構成比の5年ごとの推移



4 救急車が到着するまでの間の応急手当を口頭で指導

救命率向上のために、救急車が到着するまでの間、通報者から傷病者の状態を聴取し、心肺蘇生法などを口頭で指導しています。

令和3年の指令センターからの口頭指導の件数は750件で、そのうち「心肺蘇生(胸骨圧迫、人工呼吸)」666件(「AED」48件を含む)、「その他(異物除去等)」が141件となっています。(重複あり。)これらの件数の中には、口頭指導するも拒否された113件が含まれています。

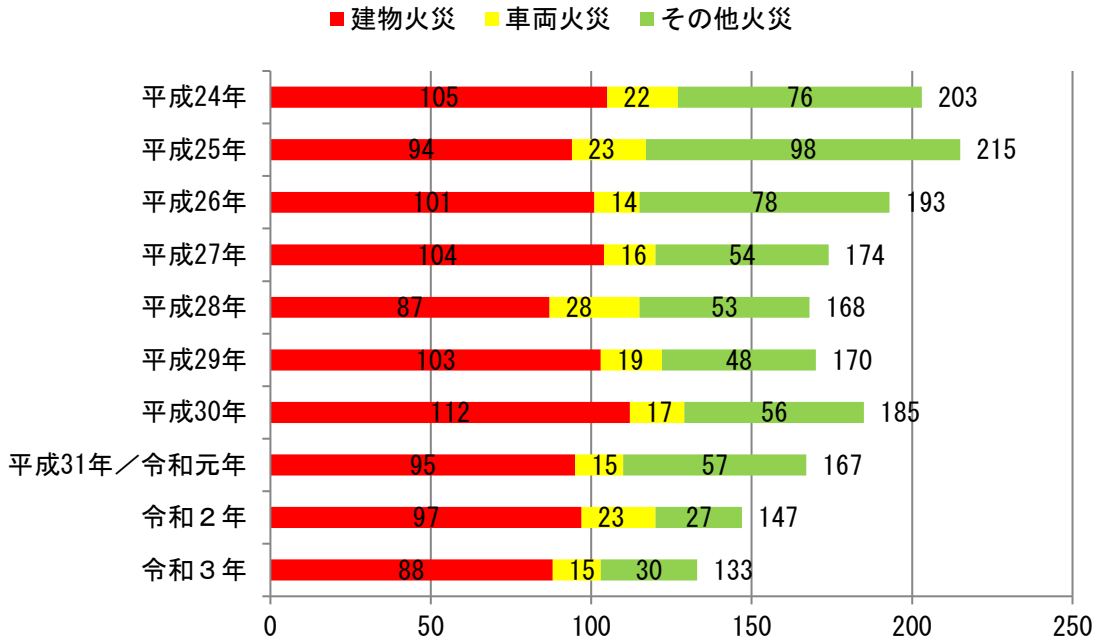
また、救急現場においてバイスタンダー(居合わせた方)による心肺蘇生等が大変重要になります。本消防組合では、救急活動に協力して下さった方に対して感謝の気持ちを込めて「勇気こころのカード」を配布しています。

火災の主な特徴

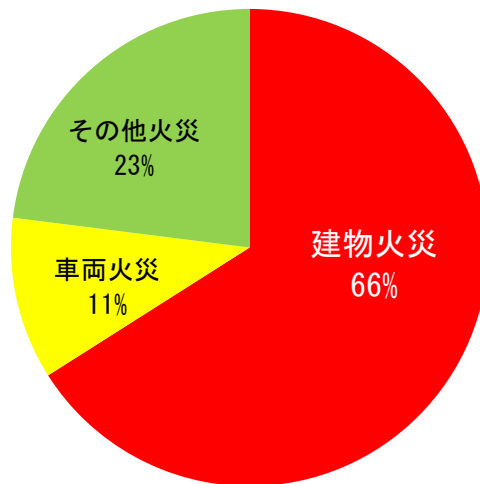
1 火災件数は133件で前年より14件減少

令和3年の火災件数は133件（枚方市81件、寝屋川市52件）で、前年（147件）より14件減少しており、過去10年間で最少件数となりました。

火災件数と火災種別の構成比の10年ごとの推移



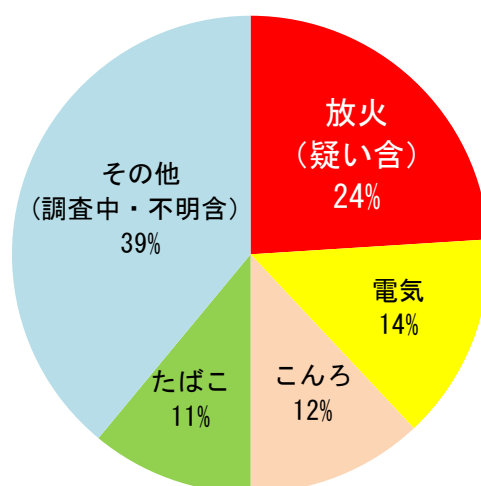
火災種別の構成比



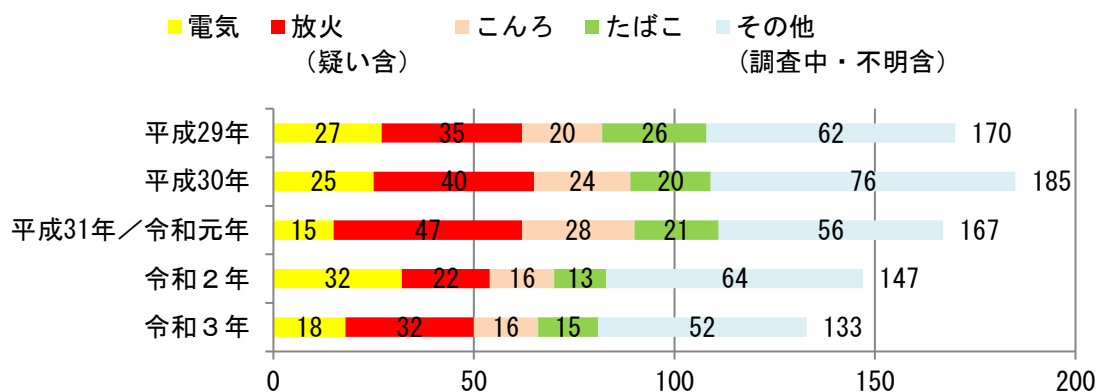
2 出火原因 1位「放火（疑い含む）」、2位「電気関係」、3位「こんろ」

出火原因別に見ると、1位「放火（疑い含む）」32件（24%）、2位「電気関係」18件（14%）、3位「こんろ」16件（12%）、4位「たばこ」15件（11%）の順となっています。

主な出火原因の構成比



主な出火原因の構成比の5年ごとの推移



3 火災による死者は1人、負傷者は33人

火災による死者は1人（枚方市1人、寝屋川市0人）で、前年（6人）より5人減少しました。

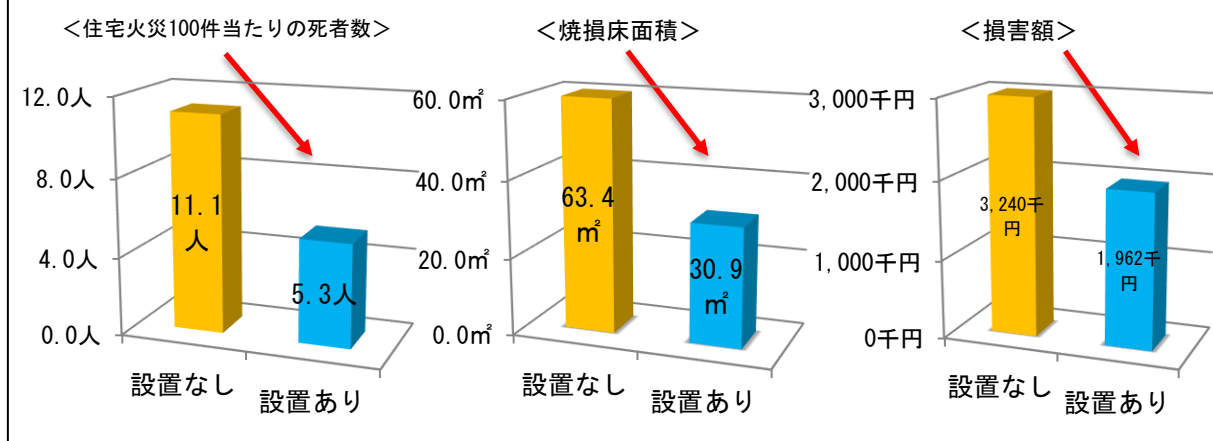
死者1人は住宅火災によるもので、65歳以上の高齢者でした。

負傷者は33人（枚方市17人、寝屋川市16人）で、前年（24人）より9人増加しています。

4 住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器を設置することで火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少しています。

【参考】平成28年から平成30年までの3年間における失火を原因とした住宅火災について、住宅用火災警報器の効果を分析した結果、住宅用火災警報器を設置している場合は死者数が4割減、焼損床面積と損害額が概ね半減したことがわかりました。



住宅火災から命を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

また、いざという時に住宅用火災警報器が正常に作動するよう、定期的に作動確認を行いましょう。

救急の主な特徴

1 救急出動件数、救急搬送人員がともに増加

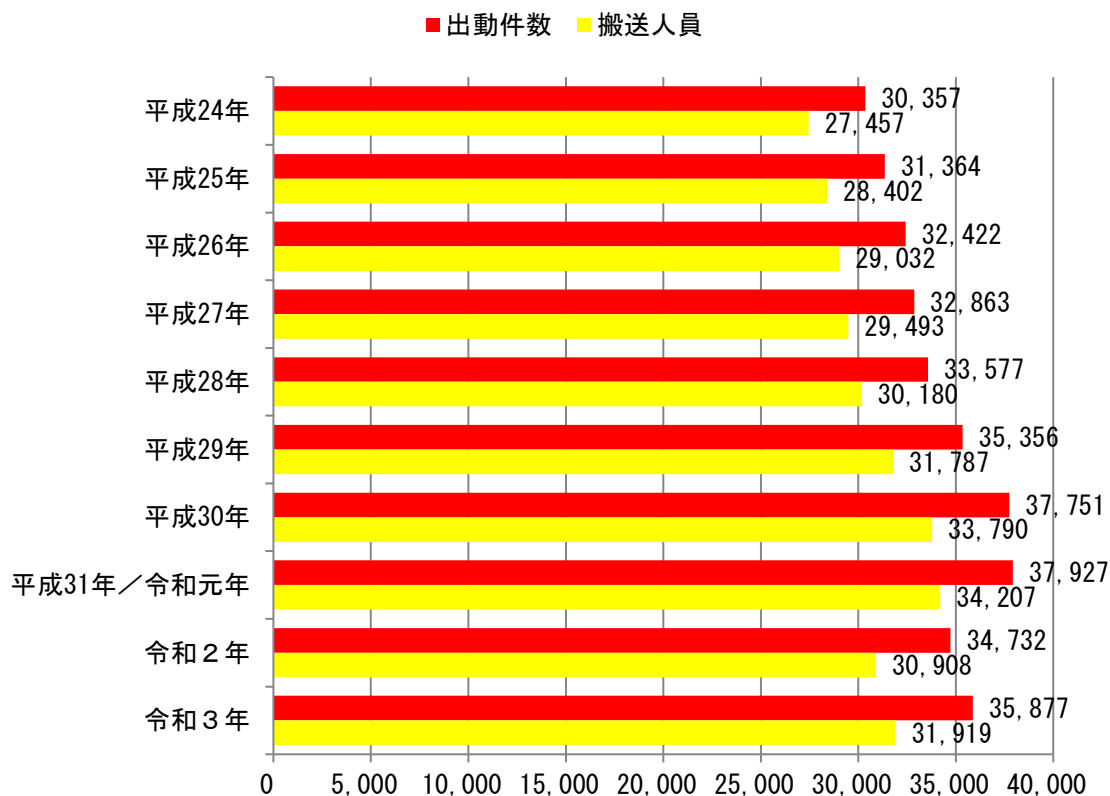
令和3年の救急出動件数は35,877件（枚方市21,205件、寝屋川市14,553件、その他119件）で、前年（34,732件）より1,145件（3.3%）増加しました。

救急搬送人員は31,919人（枚方市18,851人、寝屋川市13,016人、その他52人）で、前年（30,908人）より1,011人（3.3%）増加しました。

1日の平均出動件数は約98件で、救急隊1隊あたりの1日の出動件数は約5.8件となっています。

※ その他とは、第二京阪道路、交野市等へ出動した件数です。

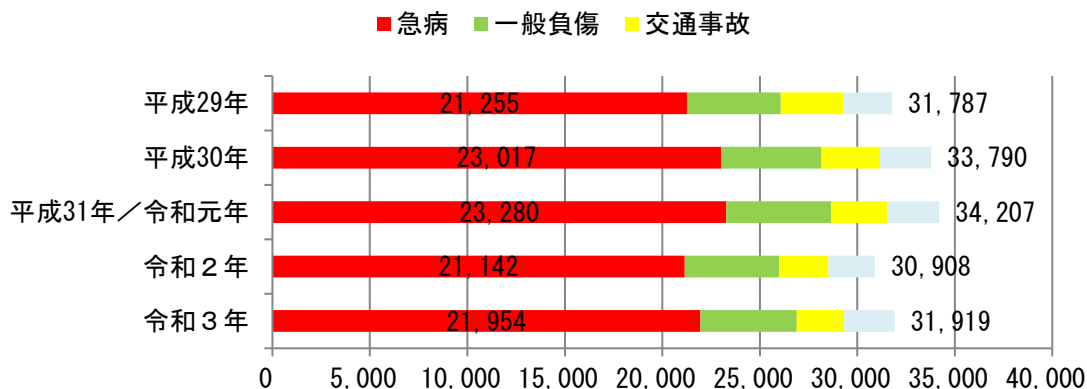
救急出動件数及び搬送人員の10年間の推移



2 事故種別救急搬送 1位「急病」、2位「一般負傷」、3位「交通事故」

事故種別ごとの救急搬送人員は、1位「急病」21,954人(68.8%)、2位「一般負傷」4,943人(15.5%)、3位「交通事故」2,433人(7.6%)の順となっています。

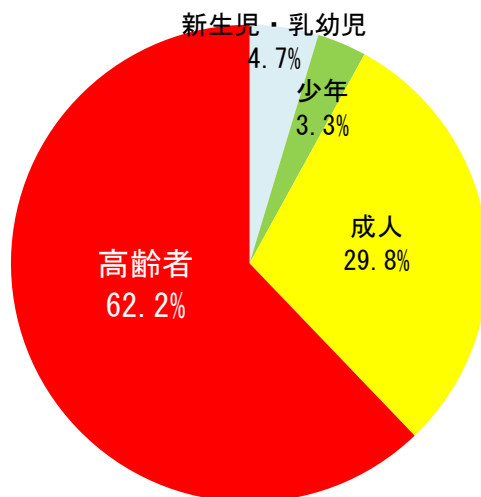
事故種別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移



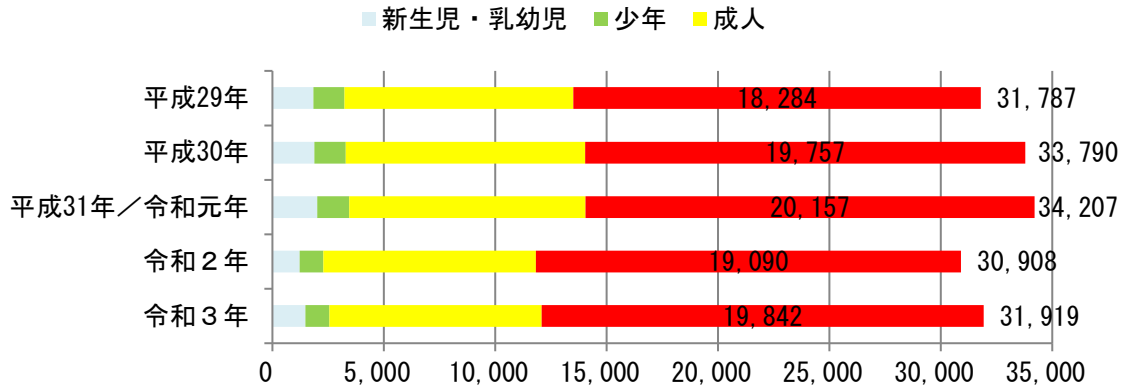
3 救急搬送人員の約6割が65歳以上の高齢者

年齢区分別による搬送人員は、65歳以上の高齢者が19,842人で、全体の約62%を占めています。

年齢区分別の搬送人員の構成比

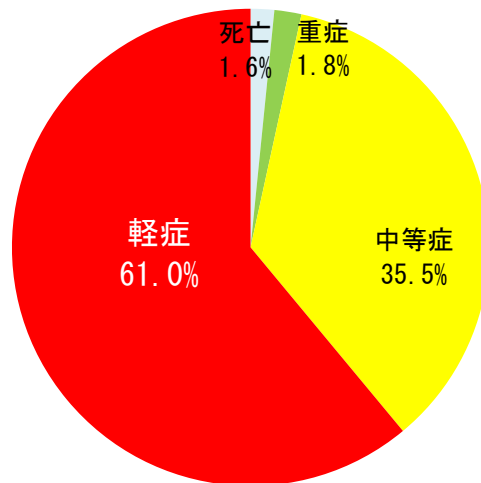


年齢区別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移

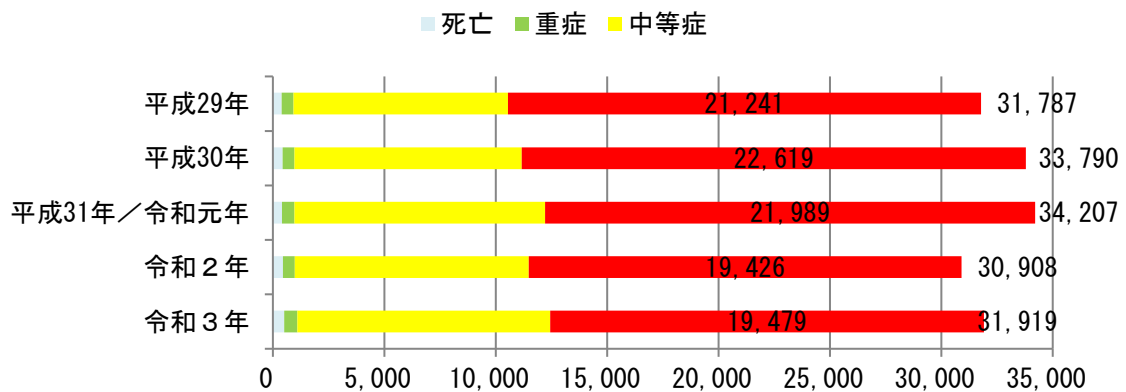


4 救急搬送人員の約6割が軽症者

症度別による搬送人員は、軽症者が19,479人で、全体の61%を占めています。



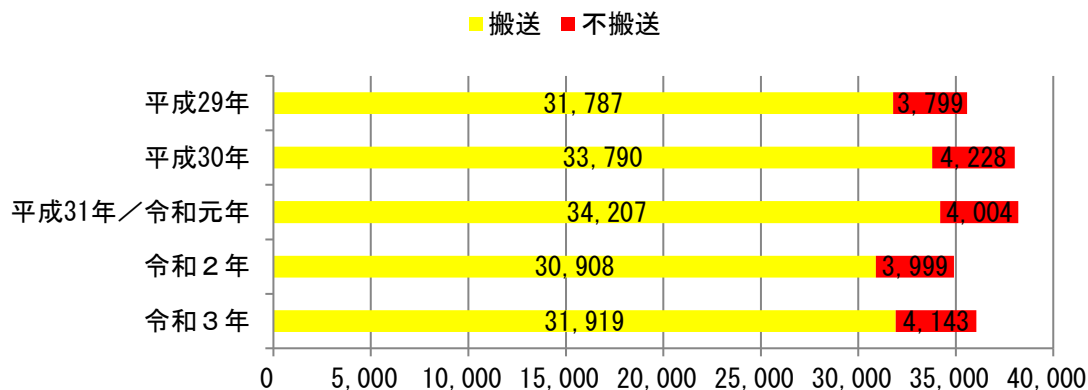
症度別の搬送人員と構成比の5年ごとの推移



5 救急出動全体の約10%は不搬送、不搬送のうち約71%は搬送拒否

不搬送には現場処置、死亡が確認できる状態の場合や医師搬送のための理由もありますが、救急車で搬送を拒否、誤報、悪戯、酩酊等が約71%を占めています。

搬送数と不搬送数の構成比の5年ごとの推移



6 ドクターカー出動件数

平成29年4月から救命率の向上を図るために、医師が救急車に同乗し、救急現場にて医療行為を行うドクターカーを運用しています。(平日の9時～17時まで)

令和3年の出動件数は357件(枚方市194件、寝屋川市128件、その他35件)で、1日の平均出動件数は約1.5件となっています。

ドクターカーの出動項目別では、「心肺停止」141件(39.4%)、「急性脳卒中」86件(24.0%)、「高エネルギー外傷(交通事故や高所からの転落)」25件(7.0%)となっています。

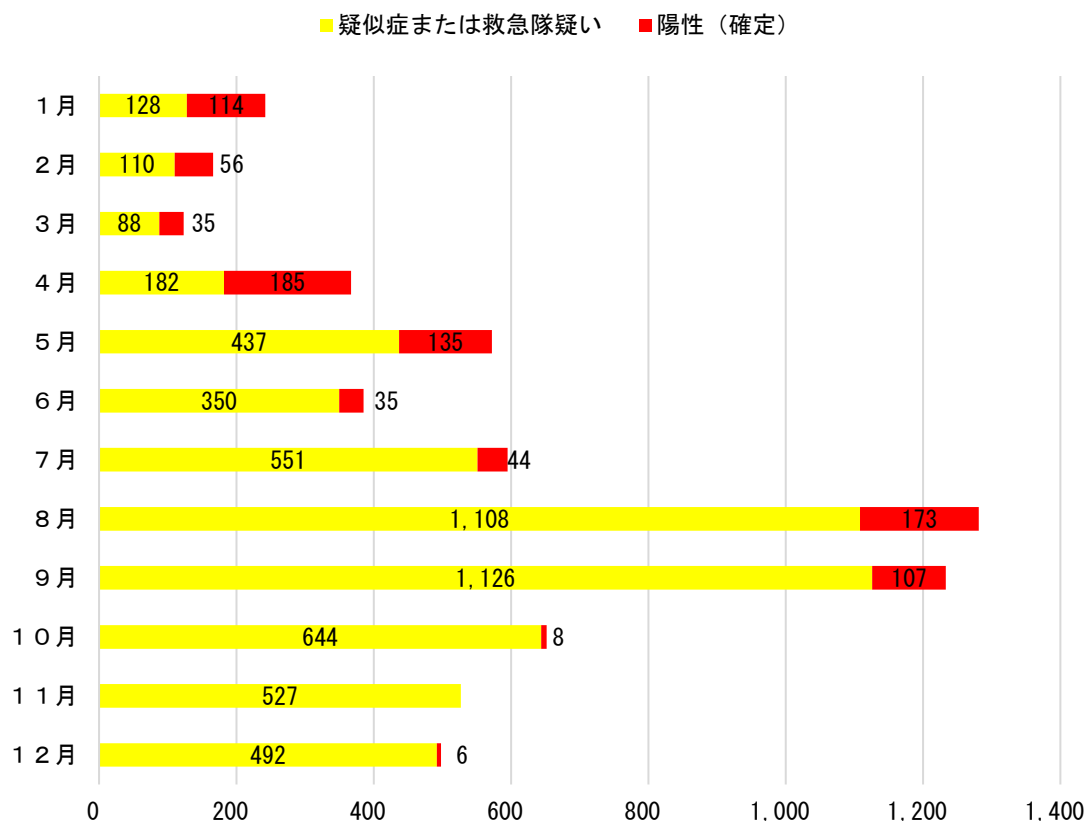
※ その他とは、第二京阪道路、交野市等へ出動した件数です。

7 新型コロナウイルス関連

新型コロナウイルス感染症関連の搬送件数は6,641件でした。そのうち感染者の搬送件数は898件、感染疑いの搬送件数は5,743件でした。

最も感染者の搬送が多かった月は4月(185人)で、次いで8月(173人)、5月(135人)となっています。

月別の新型コロナウイルス関連の搬送件数



救助の主な特徴

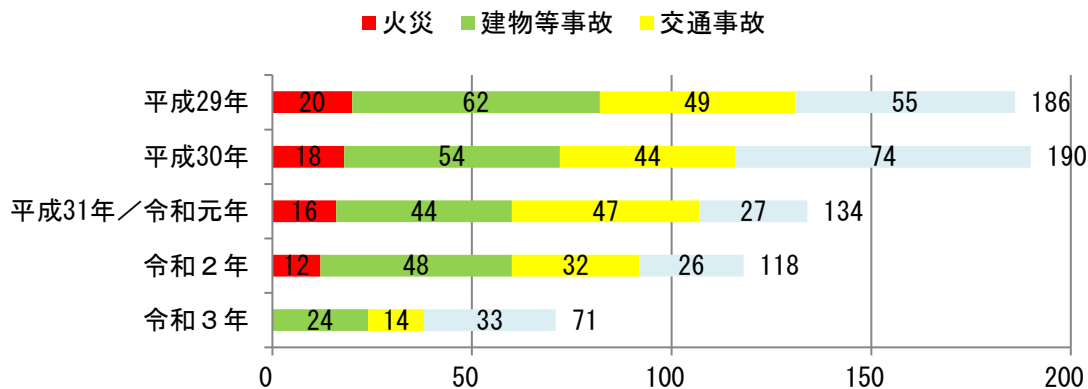
1 救助出動件数は18件減少（1日平均約0.6件の出動）

令和3年の救助出動件数は236件で、前年（254件）より18件減少しています。

2 救助人員は前年と比較して47人の減少

令和3年の救助人員は71人で、前年（118人）より47人減少しています。

事故種別の救助人員と構成比の5年ごとの推移



3 事故種別救助出動件数 1位「火災」、2位「建物等の事故」、3位「交通事故」

事故種別ごとの件数は、1位「火災」54件（23%）、2位「建物等の事故」45件（19%）、3位「交通事故」33件（14%）の順となっています。

事故種別の救助出動件数と構成比の5年ごとの推移

